

学校長あいさつ

沖縄県立沖縄高等特別支援学校（略称：OKT）へアクセスいただき、ありがとうございます。
ます。

沖縄高等特別支援学校の関係者の皆様、このたび本校に赴任致しました、城間 政次です。
どうぞよろしく申し上げます。特別支援教育に携わってはや35年目となります。

本校も私が採用された年に近い、1991年（平成3年）、軽度の知的障害のある高等部単独校として創立されました。「希望・敬愛・自立」を校訓に掲げ、多くの卒業生が一般就労し、社会人として活躍しており、今年度で創立32年目を迎えました。

平成21年度に沖縄高等養護学校から沖縄高等特別支援学校に校名変更となりました。
教育目標は「生徒一人ひとりの特性等を最大限に発揮させ、将来の職業的・社会的自立を図り、働く喜びと誇りを持ち自他ともに敬愛する心豊かな人間を目指す」で〈校訓〉は「希望（ゆめ）：夢の実現をめざし、勉学にはげむ明朗活発な人」「敬愛：広く友情を深め、自他共に敬愛する心豊かな人」「自立：職業的・社会的自立をめざし、自らの人生を切り拓くたくましい人」です。

令和4年4月現在、新型コロナウイルス感染症の流行が、3年目を迎え、未だ終わりが見えません。ヨーロッパの周辺では、大きな戦争がおこり、終わりが見えません。このような混沌とした時代ですが、私たちは、これまで本校の教育活動に関わっていただいた方々の思いを受け継ぎ、将来、子供たちが、それぞれにあった形で、幸せに、社会参加・社会貢献・自立の花を咲かせられるよう、職員一同、心を一つにして日々教育活動の充実に努めてまいります。

著しく変化する社会の中で困難な場面においても自分の能力を発揮できるよう「生きる力」を育み、生徒自身が「なりたい自分」をイメージし主体的に学ぼうとする力（意欲・態度）を身に付け、一人ひとりの個性や能力を十分に伸ばし健やかな成長のために教職員が一体となり取り組んでおります。

本校に入学した生徒一人ひとりが、幸せな「良き職業人・立派な社会人」として社会自立ができるように、学校全体で努力しています。平成30年度からは学科改編により「普通科」から「就労技術科」となり、更なる職業教育の充実に取り組んでいます。

保護者、地域、関係機関の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご支援をどうぞよろしく願いいたします。